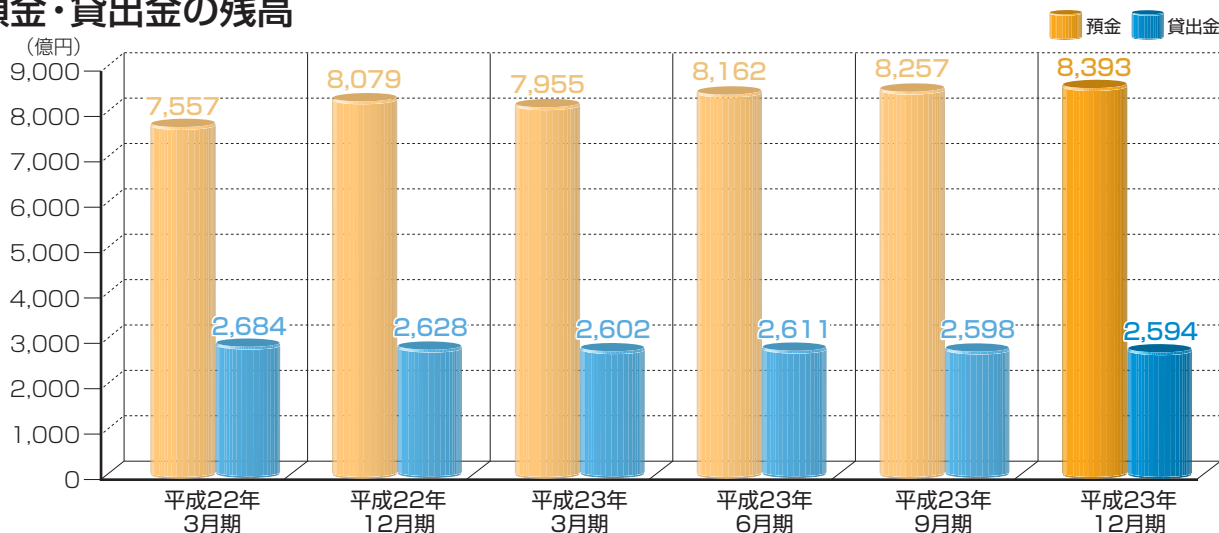


1. 預金・貸出金の残高



2. 有価証券の状況

(単位:百万円)

		平成23年12月期				
		貸借対照表計上額	評価損益	対平成23年3月期比	評価益	評価損
保有目的別	満期保有目的	103,127	5,477	3,936	5,477	—
	その他有価証券	446,594	△1,390	5,858	6,361	7,752
合計		549,722	4,086	9,794	11,838	7,752
種 類 別	株式	4,108	△674	△646	107	782
	債券	518,548	11,169	8,567	11,730	561
	その他	27,065	△6,408	1,874	—	6,408

(注) 1. 売買目的有価証券、子会社・子法人等株式及び関連法人等株式に区分した有価証券はありません。

2. 「評価損益」は、平成23年12月末時点の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と市場価格等に基づく時価との差額を計上しております。

3. 保有目的別「満期保有目的」は、すべて国債です。

4. 種類別「その他」の貸借対照表計上額の内訳は、米国債が27,014百万円、組合出資金が50百万円となっております。

3. 不良債権の状況 金融再生法開示債権

(単位:百万円)

	平成23年3月期	平成23年9月期	平成23年12月期	対平成23年3月期比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,246	3,339	3,505	258
危険債権	3,130	3,334	3,284	153
要管理債権	1,099	965	946	△153
不良債権合計	7,477	7,639	7,735	258
(不良債権比率)	(2.86%)	(2.92%)	(2.97%)	(0.11%)
正常債権	253,797	253,140	252,705	△1,092
合計	261,274	260,779	260,440	△833

(注) 平成23年12月期の各数値は、平成23年9月期に実施した自己査定結果をもとに12月末までに倒産、不渡り、当組合が実施する信用格付に変動があった等業況に一定の変化が生じた債務者について、当組合の自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行ったものです。

4. 平成24年3月期予想

●当期純利益

当期純利益は、当初予想の15億円を「18億円から20億円程度」に上方修正いたします。

「資産の優良化方針」のもと、昨年6月以降の急激な円高(対ドル、対ユーロ)に対応し、外国証券の為替リスクを軽減するため、ドイツ国債(ユーロ建て)については前年度に引き続き売却を行い、全て売却済みとなりました。また、米国債(ドル建て)についてもその一部を売却し、これらに伴う国債等売却損を計上いたしました。

しかしながら、債券相場が堅調に推移したことから上記売却損も含め、有価証券関係の売却損益が当初予想と比較して改善すると見込まれることなどから、当期純利益予想を上方修正いたしますが、世界情勢が混迷を深め依然不透明なことから、上記の予想といたします。

なお、「平成23年度税制改正修正法」及び「東日本大震災復興財源確保法」の公布に伴い、法人税率の引下げにより繰延税金資産の取り崩しを行うこととなりますが、この減益分も今回の予想では見込んでいます。

●自己資本比率

従来基準で15%台を見込んでおります。

●不良債権比率 金融再生法開示債権ベース

3%前後を見込んでおります。

年金のお受け取りは けんしんへ。



けんしんは、豊かなシニアライフを
応援しています。



長野県信用組合 **けんしん**

【ホームページ】<http://www.naganokenshin.jp>